

一般質問・質疑の概要

発言順	質問・質疑の別	議席・氏名	質問・質疑の内容（通告原文のとおり）
1	質問 (一問一答)	14 大東 和美	<p>1 行政のデジタル化 デジタル障害者手帳の活用を推進してはどうか</p> <p>(1) 行政のデジタル化における、デジタル障害者手帳の活用を推進してはどうか、ぜひ検討していただき、広く活用するためには、石川中央都市圏でも検討していただければと願いますが、市長の見解をお伺いいたします。</p> <p>2 防災・減災 防災士育成 中学生の防災リーダー養成講座を開催してはどうか</p> <p>(1) 防災・減災、防災士育成に、中学生の防災リーダー養成講座を開催してはどうか検討していただければと願いますが、市長の見解をお伺いいたします。</p> <p>3 若手研究者の活躍促進へ</p> <p>(1) 消雪装置開発で、本市の課題解決に向けてプロジェクトチームを結成してはどうか、市長の見解をお伺いいたします。</p> <p>4 誰でも使いやすく 高齢者向けスマホ教室の開催で情報格差の解消を目指してはどうか</p> <p>(1) 公民館あるいは、小学校区単位でスマホ教室を開催し、高齢者の中から、支援員を育成し、そこで育成された支援員が、外出の困難な高齢者宅を訪問し、講習するような仕組みを構築してはどうか、伺います。</p> <p>(2) 市役所内でデジタル活用支援員を配置し、高齢者等にマイナンバーカードに入ってきたポイントを使えるように手続きを手伝ってもらいたいのが本市の考えを、お伺いいたします。</p> <p>(3) 本市における「情報格差解消」の課題をどのように解決していくのか、お伺いします。</p> <p>5 0～2歳児の産後ケアや家事・育児サービスの充実</p> <p>(1) 保育ママなどの育成講座を開催し、より多くの保育ママに子育てで支援にご協力をいただき、0歳から2歳児までの家事・育児サービスの充実につなげていただきたいがいかがでしょうか？0～2歳児の産後ケアや家事・育児サービスの拡充と期間を4か月から1年間をさらに2歳児まで延長してはどうか、市長の見解をお伺いいたします。</p> <p>6 高齢者の移動支援として</p> <p>(1) 高齢者の移動支援として不便解消へ、乗り合いタクシーの補助や公共交通機関の割引など、より多くのメニューを増やしてみようということを検討してみたいかがでしょうか。市長の見解をお伺いいたします。</p> <p>7 マイナポイントのさらなる上乗せについて</p> <p>(1) マイナポイントのさらなる上乗せについて、各自治体で上乗せできると政府は言っているようだが、本市で予定しているのか伺う。</p>
2	質問 (一問一答)	6 馬場 弘勝	<p>1 子どもたちの登下校における緊急事態発生時の安全を確保するために</p> <p>(1) 見守り隊の活動に対する支援策を講じることについて、どのような考え方なのでしょう、お伺いいたします。 また、支援施策として、ボランティア保険への加入、活動用ユニホームの支給・補助、交通防犯に関する研修会の開催等が考えられますが、本市ではどのような支援をしているのか、お伺いいたします。</p>

発言順	質問・質疑の別	議席・氏名	質問・質疑の内容（通告原文のとおり）	
2	質問 (一問一答)	6 馬場 弘勝		<p>(2) 子どもたちの登下校の安全を確保するという観点で、本市の近年における不審者情報等の件数、危険度レベルに応じて実際に対応した件数、内容についてお伺いいたします。 また、関係機関、関係部署の対応、見守り隊への連絡も含めて、緊急事態が発生した時に、適切に機能するの、連絡体制は万全なのか、お伺いいたします。</p> <p>(3) あるひとつの交差点ポイントにおいて、一刻を争う事態が発生した時、小学校区をまたぐ近隣の他の交差点ポイントへの迅速な情報伝達は適切に行われるのか、お伺いいたします。 また、一刻を争う事態の発生時の情報伝達方法や対応、見守り活動における様々な意見交換、活動の継続性の工夫、安全や防犯の講習会も含め、地域と学校、行政が一体となって取り組んでいくために、連携を目的とする協議会を設置すべきではないでしょうか。お伺いいたします。</p>
			2	<p>豪雨による水災害を防ぐために</p> <p>(1) 本市に影響のある河川について、適切にしゅんせつ工事が計画通りに実施されているのでしょうか。お伺いいたします。 また、流域治水という観点で、流域の市町とともに国や県に対して、手取川ダムや流域河川のしゅんせつ工事の必要性を状況に応じて見極め、実施することについて、要望をしっかりと出していく必要があると考えますが、見解をお伺いいたします。</p> <p>(2) 田んぼダムの試験的な導入を目標に据えて、農地の所有者や耕作者、JAや農業法人へのご理解とご協力を求めるために、具体的なアプローチをすべきだと考えます。意見交換、協議等は実施しているのでしょうか。お伺いいたします。 また、意見交換や協議等は、どのような段階、内容まで進んでいるのでしょうか。お伺いいたします。</p> <p>(3) 本市の建物密集度を考慮し、側溝や河川への急激な排水を抑制するために、雨水をゆっくりと地面に返す雨水浸透柵の有効性についての見解をお伺いいたします。 また、雨水浸透柵の設置に関する助成制度を創設すべきだと考えますがいかがでしょうか。お伺いいたします。</p> <p>3 野々市中央公園拡張事業を前に進めるために</p> <p>(1) 市議会の特別委員会における令和3年3月の中間報告書には、検討する必要があるとの6項目が提示されております。その1つに、「本市の財政規模、将来の人口動態を考慮するとともに、市民ニーズも十分に配慮した適正規模の体育施設とし、マネジメント（収益性や受益者負担）や官民連携のバランスを考慮した運営方法等についても検討を重ねること」とありますが、市長の見解をお伺いいたします。</p> <p>(2) サウンディング市場調査を実施するのでしょうか。その時期、タイミングはいつなのでしょう。お伺いいたします。 また、参入意向や要望を問う対象事業者の業種や数はどのくらいを想定しているのでしょうか。お伺いいたします。</p> <p>(3) 民間事業者に対して、本市におけるこの事業への考え方や想い等、この事業の内容を広く告知していく必要があると考えますが、どのような方法を取るのでしょうか。お伺いいたします。</p>
3	質問 (一問一答)	13 土田 友雄	1	<p>温泉について</p> <p>(1) 温泉スタンドの存在を知らない市民が多い。温泉スタンドをもっと宣伝したり、温泉水の宅配をしたりしてはどうか。温泉スタンドの管理運営を第三セクターあるいは民間に委託するという選択もある。唯一の資源を消さないでほしいと考えるが、市長の考えを問う。</p> <p>(2) 温泉ミストや入浴剤等の開発ができないものか研究していただきたいと考えるが、市長の考えを問う。</p> <p>2 学校教育について</p> <p>(1) 保健衛生について、「歯や体を清潔にすること」や、「男性も女性も自分自身の体を大切にすること」を、しっかりと学校教育の中で正しい知識として教えてほしいと思うが、市長の考えを問う。</p>

発言順	質問・質疑の別	議席・氏名	質問・質疑の内容（通告原文のとおり）	
3	質問 (一問一答)	13 土田 友雄	(2)	授業に入る前に、一言でいいので良い話をしてはどうか。野々市の気候風土に合った野々市らしい道徳をお願いしたいと思うが、市長の考えを問う。
			(3)	気力、体力の低下は学力の低下につながる。学力の差は朝食の内容によることが大きいとの統計も出ているので、指針の一つとして朝食の絵を描かせるという調査をしてはどうか。また、空腹による集中力低下の対策として給食時間の変更を行ってはどうか。朝食をしっかり摂ることと給食時間の変更により、気力、体力、学力の向上は見違えると思うが市長の考えを問う。
			3 街づくりに大切な空気、水、道路について	
			(1)	全国的に水道管の老朽化が問題となっているが、本市の老朽化に関する現状と今後の見通しを問う。
			(2)	道路整備について、市として交通量の調査と同時に右折、左折のラインがとれないか等留意して、都市計画道路と合わせて渋滞の緩和に向けて対策を練ってほしいと思うが市長の考えを問う。
4	質問 (一問一答)	4 向田 誠市	1 SDG s に関する件	
			(1)	本市における小中高生に対する「SDG s（持続可能な開発目標）」の理解促進をどのようにして行っているのか。また、職員に対する勉強会も行われていますが、進捗状況及び現時点での成果を粟 市長にお尋ねします。
			(2)	本市も白山市と同様の家庭用生ゴミ処理機購入助成や堆肥を回収店に持ち込むことでポイントが貯まる制度を設け対処することで、本市及び白山市、川北町のゴミ処理場の「焼却炉の延命やカーボンニュートラルの推進」にも繋がり、焼却炉の修理等による「高額な負担金の軽減及び将来を担う子供達への地球環境の推進」にも繋がると思われませんが、粟 市長のご所見をお伺いします。
			2 手取川ダムに関する件	
			(1)	中国資本の会社が今後、この地区の土地を自由に買収するようなことがあれば、本市にとって市民の生活を守る水瓶に大きな影響をおよぼすことも予測されます。そう言う観点からも中国資本の会社が、日本各地で買収した土地を自由に利用させないためにも、国や県に対し早急に土地利用等に対する条例の制定等の対策対応を早急に求めるべきと思いますし、問題が発生してからでは遅いと思います。粟 市長のご所見をお伺いします。
			3 新型コロナウイルス感染症に関する件	
(1)	政府は2回目のワクチン接種後6～8ヶ月経過した方々より、3回目のワクチン接種を12月より医療従事者等を皮切りに行うと発表され、今回は職域接種と言った集団接種と医療機関での接種を同時に進めて行くとの発表もされています。そうなった場合、本市では医療従事者の手配体制に問題はないのか。今後の追加ワクチン接種については、「一つの接種会場で複数種類のワクチンを取り扱うことが可能となる。」との報道があるが、市民に対する不安払拭が図れるのか。粟 市長のご所見をお伺いします。			
(2)	本市における12歳から19歳のワクチン接種状況及び、11月時点での接種対象市民に対する年代別接種率はどうなっているのか。また、全くワクチン接種を受けていない市民は、接種対象者に対しどれくらいの割合なのか。全くワクチン接種を受けていない市民に対する接種への周知を図るのか否か。政府は、5歳から11歳までの子どもさんを対象にワクチン接種を検討中ですが、接種開始になった場合、本市として問題はありますか。あるとすればどう言った問題があり、対処対応をどう考えられておられるのか、粟 市長のご所見をお伺いします。			
(3)	政府は今国会で、18歳以下の子どもさんを対象に10万円の給付金支給を公表されました。前回の給付金は全国民対象の給付金でしたが、今回は所得制限が設けられ全ての子どもさんが対象とはなりません。政府の支給対象条件をクリアして、給付を受けられる子どもさんは本市で何名が対象となり世帯数はどれだけか。また、本市で給付金対象とならなかった子どもさんに対し、何らかの対応策を検討されるのか、粟 市長のご所見をお伺いします。			

発言順	質問・質疑の別	議席・氏名	質問・質疑の内容（通告原文のとおり）
4	質問 (一問一答)	4 向田 誠市	<p>(4) 石川県に出ている「蔓延防止等重点措置」により、本市の飲食店の皆さんも少なからず影響を受けておられるにも拘わらず、本市の「飲食店時短営業支援金申請」が見込み数より少なかったため「申請期限を令和4年1月末日まで延長とする。」との発表をされました。当初の期限内に予測されている見込数に達しなかった要因はなにか、粟 市長のご所見をお伺いします。</p>
			4 カメラ移転に関する件
			<p>(1) 情報交流館カメラでは、「地域ポータルサイトなどの地域情報の発信」「市内大学と市民及び行政を結ぶプラットフォーム事業の推進」「情報文化活動の担い手となる人材の育成」の3本柱を軸に事業展開を行ってきたと考えております。私はフォルテでは、カメラで行われていた全ての事業継続やカメラの代替機能を果たすことは難しいと思っております。そこで、カメラが行ってきた事業や役割をどの程度フォルテに移行するのか、その選考状況について粟 市長にお伺いします。</p>
			<p>(2) 次に、カメラを閉館する事によって、市南部コミュニティ拠点の一つ無くなることと、既存施設の有効活用について、粟 市長はどのようにお考えをお持ちなのかお伺いします。</p>
			<p>(3) 「富奥防災コミュニティセンター」内には、「富奥公民館」が併設されている事から、カメラがこれまで培ってきた事業の一部を活用して「富奥公民館」の活性化を図り、「新たなコトが生まれる地域づくりの核」に繋げていただきたいと思います。そうする事による人材等は行政で検討いただければと思うものです。粟 市長のご所見をお伺いします。</p>
			5 富奥地区における産学官及び地域連携拠点に関する件
			<p>(1) 「富奥防災コミュニティセンター」に、中林土地区画産業ゾーンに進出する企業の産学官連携や地域連携の拠点を作っては如何でしょうか。粟 市長のご所見をお伺いします。</p>
			6 野々市市体育施設整備実施計画に関する件
			<p>(1) 現在の中央公園西側に7ヘクタールの拡張計画を予定されていますが、拡張される予定地の南側に2ヘクタールの市営墓地候補地が予定されています。私は、特別委員会で二回にわたり「現状の候補地7ヘクタールに市営墓地候補地2ヘクタールを運動公園に変更して9ヘクタールを運動公園予定地として国に申請し、国の補助金により体育施設予定地として確保しておいた方が良いのでは。」と質問させていただきましたが、担当課より明確な回答をいただけませんでした。私の思うところ、ここ近年の市民アンケートでは合葬墓を求める要望が多く現在、中林土地区画内に2ヘクタールの「市営墓地公園」の造成工事を行っており、墓地公園内に合葬墓1棟の建設になっておりますが、合葬墓を追加建設する事で墓地問題はクリアできるのではと思うものです。逆に、これからの若い人達の将来に向けてのスポーツ施設に対する要望は「東京2020オリンピック」で正式競技として採用された「スケートボード・スポーツクライミング・自転車BMXフリースタイル」等の施設要望が予測されます。私は、「その時の建設予定地として確保しておくべき。」と考えます。これまで私は、中学硬式野球の関係で中日本の各地や、関西方面のさまざまな運動公園を見てきましたが、運動公園の隣接地に墓地公園が設けられた公園を見た事はありません。景観的にも不釣り合いと思うものです。中林土地区画内の「市営墓地公園」が手詰まりとなり、どうしても墓地公園敷地が必要となった時点で、他地区における計画検討をしても良いのではないのでしょうか。粟 市長の率直なご所見をお伺いします。</p>
			7 除雪対策に関する件
<p>(1) 私が「除雪対策本部」よりお聞きした内容は、「重機や重機オペレーター不足」が要因とお聞きしました。そこで、市内土木関連企業の社員の方や市民の皆さんで、免許取得を希望される方々に補助金制度を設け、免許を取得された方を重機オペレーターとして登録をして、オペレーター確保に努めたいかがでしょうか。粟 市長のご所見をお伺いします。</p>			

発言順	質問・質疑の別	議席・氏名	質問・質疑の内容（通告原文のとおり）	
4	質問 (一問一答)	4 向田 誠市	(2)	私の町内会では、個人で農機等の除雪対応機を所有されている方を対象に「町内会除雪部隊」を設け、町内生活道路の除雪を行っていただいております。最近、除雪部隊隊員から「除雪機として使用している農機等が故障した際の修理費が高額で、町内会や市から燃料費や保険の助成はあるが、持ち出しが多いから除雪部隊員を辞めようかと思っている。」との話をよく耳にするようになりました。私の町内会の除雪部隊は地域に欠かせない存在となっており、本市としても重要な位置付けにあるかと思われます。除雪対応機の登録制度により修理費に対しても助成制度を設け、除雪部隊員の継続等に努めたら如何でしょうか。栗 市長のご所見をお伺いします。
5	質問 (一問一答)	15 岩見 博	1	<p>1 原油高騰による暖房・燃料費助成と生活困窮世帯、困窮学生に食料品と生理用品の無料配布を</p> <p>(1) 新型コロナウイルスの感染拡大の波が繰り返されたなか、いまなお雇用や商売は厳しい状況にある。加えて、原油高騰による燃料、ガソリン、灯油価格の高騰で生鮮食品、生活必需品の値上がりが続く、円安という要因も加わって、いっそう市民の暮らしに深刻な影響が及んでいる。とりわけ生活困窮世帯への影響が心配される。11月8日、栗市長に、生活困窮世帯と困窮学生に食料品、生理用品の無料配布、灯油の購入費補助をと要望した。今年度の12月補正予算案第8号で、生活困窮世帯1世帯5000円の灯油購入費助成予算500万円を計上している。対象となる市民のみなさんは喜んでおられると思う。対象範囲と助成方法を伺う。</p> <p>(2) 11月12日、金子総務大臣が記者会見で、「地方自治体が行う生活困窮者に対する灯油購入費の助成といった原油価格高騰対策に要する経費に対し、特別交付税措置を講じる」と発表した。対象は、生活困窮者に対する灯油購入費等の助成、養護老人ホーム、障害者施設、保育所・幼稚園等に対する暖房費高騰分の助成、公衆浴場に対する燃料費高騰分の助成、漁業者等に対する燃油高騰分の助成などとなっている。特別交付税措置と知事会が要望している21年度補正予算の市町村分1兆円の地方創生臨時交付金を財源に、福祉施設などにも燃料高騰分を助成できないか。</p> <p>(3) 年末年始を控え、生活困窮世帯の親と子ども、学生が少しでも温かい正月を迎えられるように、食料品、生理用品を無料配布できないか。</p> <p>2 子ども医療費助成窓口無料化について</p> <p>(1) コロナ禍で生活に困窮する子育て世帯が顕著に増えるなか、子どもの貧困が大きな社会問題、政治の課題になっている。助成制度の拡充によって子どもが早めに受診できるようになり、病気の重症化が防止されることになる。貧困層は虫歯の有病率が高いことが公的調査で分かっているが、貧しくて医療にかかれない子どもを生み出すことがあってはならず、政治の責任として解消しなければならない。県内で1000円の自己負担が残っているのは県と金沢市、津幡町、内灘町、本市のみである。2016年1月から市の子どもの医療費助成窓口負担が1回500円、月1000円となってからもうすぐ6年となる。窓口負担なしに一歩踏み出す考えはないか。</p> <p>3 国保税子ども均等割廃止について</p> <p>(1) 国保税の未就学児の均等割を5割軽減する国の制度が、来年4月から始まる。「子育て支援に逆行している」と軽減・撤廃をもとめる世論と運動の成果である。実施によって7割軽減対象の未就学児の場合も残り3割の半分を減額することになることから、その結果、8.5割軽減となる。同じく、5割軽減対象は7.5割軽減に、2割軽減対象は6割軽減となり大きな効果が期待できる。本市市民が負担軽減となる年間総額と軽減対象世帯、対象児の人数を伺う。</p> <p>(2) 国の動きに合わせて、すでに独自に高校生まで5割軽減する動きが始まっている。こうした新たな世論・取り組みが国を次の段階に動かす原動力になる。市として、独自に軽減対象年齢の拡大を求めていく考えはないか。</p> <p>4 いじめ問題について</p> <p>(1) 今年度の一般会計12月補正予算案第8号で、いじめ問題調査費用と調査委員の経費800万円が計上されている。調査の状況と調査報告書の提出はいつ頃になるのか伺う。</p>

発言順	質問・質疑の別	議席・氏名	質問・質疑の内容（通告原文のとおり）
5	質問 (一問一答)	15 岩見 博	<p>(2) 調査報告書を議会に報告する考えはあるか伺う。</p> <p>(3) 2011年10月に大津市で中学2年生の男子生徒がいじめを苦に自殺してから10年が経過した。この問題をきっかけに、2013年に学校にいじめ事案の調査や報告を義務づける「いじめ防止対策推進法」が成立した。しかし、今なおいじめによる深刻な事態が後を絶たない。今年7月、秋田県能代市の高校で2014年から16年にかけて、生徒だった女性が所属する運動部などでいじめを受けていた問題で、当時の校長は「当時の自分のいじめに対する認識が低過ぎた。被害を訴える当事者に寄り添う気持ちが足りなかった」と述べ、対応が不適切だったと認めている。9年前、岡山市の高校の野球部でマネージャーをしていた生徒が、野球部の監督から激しい叱責を受け自殺した問題では、自殺から9年という長い時間が経過した今年11月、県教委は学校の責任を認め、教育長は、「教育委員会の組織としての保身があった」と率直に認めている。「なぜ初めからそうならなかったのか」というのが当事者、保護者、国民が率直に抱く疑問ではないか。当事者や保護者が納得する調査報告書が出るまでに再調査と長期間を要する背景には、教育委員会の下での調査に限界があるというのではないか。受け止めに伺う。</p> <p>5 介護保険補足給付の見直しの影響について</p> <p>(1) 8月から年金収入等が155万円以下の低所得者が特別養護老人ホームなどの施設やショートステイを利用した場合の居住費等の一部を補助する「補足給付」の要件が縮小された。あわせて世帯収入や預貯金など資産要件も大幅に引き下げられ、利用者の負担増となった。補足給付の対象要件は非課税世帯でかつ、収入や預貯金額の合計で決定される。具体的には、預貯金はこれまで一律単身世帯1千万円以下だったのが500万円～650万円と約半分に引き下げられ、夫婦世帯はこれまでの2千万円以下が1500万～1650万円にと、年金額が変わらずとも軽減対象から外れることになった。少ない年金生活に備えて蓄えてきた預貯金である。これによって、たとえば、資産要件を満たし、引き続き食費・居住費補助の対象になったとしても、年金収入などが120万円を超え155万円以下の人で、特養ホーム、老健施設、療養型施設などの1日の食費はこれまでの650円から1360円に跳ね上がった。年額換算で23万7250円だったのが49万6400円へと跳ね上がった。ショートステイの食費では、年収80万円以下の人をはじめ補助を受ける大半の利用者が1日390円～650円が600円～1300円値上げとなった。これによる本市の対象事業の介護給付費は、20年度の約5100万円から、21年度は12カ月換算で約1784万円、35%も減る見込みですが、利用者負担増である。低年金生活者にとっては大変な負担増となった。これではますます低所得者は介護サービスを利用できなくなる。市長の受け止めに伺う。あわせて国に改善を求めるとともに、市独自の軽減策を検討できないか伺う。</p> <p>6 ヤングケアラー問題について</p> <p>(1) 厚生労働省は、ヤングケアラーの早期発見・把握、相談支援の推進、社会的認知度の向上に取り組むための事業費を来年度予算の概算要求に計上したと報じられている。事業内容として、自治体が行う実態調査や研修を支援する「ヤングケアラー支援体制強化事業」や、地域ごとで当事者や支援者の相互交流を促す「ヤングケアラー相互ネットワーク形成推進事業」などを創設するとしている。市としてこの事業に取り組む考えはないか。</p>
6	質問 (一問一答)	8 西本 政之	<p>1 新型コロナウイルスのワクチン接種について</p> <p>(1) 新型コロナウイルスの3回目ワクチン接種について、本市の方針を伺う。</p> <p>(2) 5歳から11歳を対象とした、新型コロナウイルスワクチン接種の方針を伺う。</p> <p>2 パートナーシップ制度について</p> <p>(1) 金沢市について白山市も制定するパートナーシップ制度について、本市でも制定すべきと考えるがいかがか。</p> <p>3 こども食堂について</p> <p>(1) 本市では、こども食堂の機運が高まっていない。自治体としての積極的な支援が必要である。本市の現状と今後の方針を伺う。</p>

発言順	質問・質疑の別	議席・氏名	質問・質疑の内容（通告原文のとおり）
6	質問 (一問一答)	8 西本 政之	<p>4 学校現場のハラスメントについて</p> <p>(1) 教職員現場のハラスメントの実態を把握するためのアンケート調査を行い、ハラスメント防止と対策を強化すべきと考えるがいかがか。</p>
7	質問 (一問一答)	5 北村 大助	<p>1 押野中央公園の利用形態について</p> <p>(1) 本公園は現在、スポーツ振興課と都市計画課の2課が混在して所管しています。現状の駐車場が無い等の利用環境を鑑みれば、検討段階にある野々市中央公園拡張に伴う体育施設の集約化のもとにグラウンド面機能を組み込み、また来年度の部制条例改正に伴い、この際、新たな仮称都市整備課のもとに公園管理としてまとめるべきと考えますが市長のご見解を伺います。</p> <p>2 仮称「ジュニアベースボールスタジアム」の設置を提案する</p> <p>(1) 野々市中央公園内に整備されています「運動広場」を仮称「野々市ジュニアベースボールスタジアム」として、リニューアル整備すべきと提案致します。「育成・交流人口・絆」をテーマとした新しい付加価値として整備することにより、県内外の集う拠点になり得る可能性があると考えますが市長の見解を伺います。特にジュニアアスリートの環境整備に取り組む自治体への定住化や人口流入は大きな関係性があると考えます。</p> <p>3 行政のデジタル化について</p> <p>(1) 今年6月、国では「デジタル社会の実現に向けた重点計画」が示されました。本市がこれから推進していくデジタルトランスフォーメーションとは具体的にどのように展開していくのか、市長の見解を伺います。行政サービスの向上・庁舎内の事務効率化が進むものと期待を致しておりますが、市民にわかりやすい形でご提示いただきたい。</p> <p>4 市内公立保育園について</p> <p>(1) 旧栗田保育園が平成25年3月に閉園されてから約8年が経過されようとしています。現状有姿のままです。いわゆる「空家のような状態」が続いていますが、今後どのように取り扱っていくのか示さなければいけない時期に来ていると考える。建物は時間が経過するほど老朽化が進行しますが、市長の見解を伺います。</p> <p>(2) 令和5年度末に閉園を予定しています「あすなる保育園」について、その後の公共施設としての活用策を民間売却も含め、今から検討協議をすべきと考えますが、市長の見解を伺います。</p> <p>5 市内道路交通ネットワークについて</p> <p>(1) 都市計画道路「野々市中央公園西線」の早期完成に向けました事業進捗と、今後のタイムスケジュールを伺います。隣接する「西部中央土地区画整理事業」が円滑かつ順調に推移していく中で、「野々市中央公園西線」は前倒ししても工期を短縮し、早期完成を目指さなければいけないと考えます。また周辺地元からの強い要望の声が増していますが市長の見解を伺います。少なくとも隣接する区画事業の完成予定年度と同時に道路完成では遅いわけであり、その前に道路完成が求められますが併せて見解を伺います。</p> <p>(2) 都市計画道路「三納下林線」が、都市計画決定を受けたのは平成12年11月につき、約21年の月日が経過しました。当区間の一部が今なお未着手区間として残っているが、一般的に都道府県では都市計画道路の見直しを定期的に行う中で、いわゆる「長期の未着区路線」の調査対象が20年を基準だとすれば、見直し対象になるではないかという心配の声に対しまして、市長の見解を伺います。</p> <p>(3) 野々市市都市計画図を改めて見つめまして、将来の道路交通ネットワーク網という観点で考察しますと、「野々市中央公園西線」及び「三納下林線」の両都市計画道路を延伸し、直結することで、フロー効果・ストック効果が新たなに大きな価値として生まれると考えます。物流・産業創出・渋滞解消などヒト・コト・モノを結ぶ重要な主要路線になると考えます。将来を見据えた大局的な見地から両線を直結すべきと提案致しますが、市長の見解を伺います。</p>